

外国語(英語)科学習指導案

指導者 広島市立〇〇学校

教諭 〇〇 〇〇

- 1 日 時 平成30年10月〇日 (〇)
 2 場 所 1年〇組教室
 3 学 年・組 第1学年〇組
 4 単 元 名 ONE WORLD English Course 1 Lesson6 外国の学校と日本の学校
 5 単元について

本単元は、日本、アメリカ、オーストラリアの中学校生活の違いを紹介する内容となっており、中学校生活は、生徒にとって身近な話題であるため、興味をもって英文を読み進めることができる題材である。世界の中学校生活の話題に触れながら、日本の中学校生活と比較するなど、読み取るべき内容が比較的充実しているため、読むことに係る能力を身に付けさせることに適していると言える。また、読んだことを基に、生徒自身の考えを引き出すことにもつなげやすい。

そこで本単元では、中学校学習指導要領(平成29年告示)解説外国語編の「読むこと」(ア)「日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができるようにする」につながる力を養うこととした。この単元を通して、書かれていることの全てを読み取ろうとするのではなく、どんな情報を得るために読むのか(読む目的)を意識しながら、目的に応じて必要な情報を読み取る力を育みたい。また、評価の対象とはしないものの、読んだことを基に、自分の考えを表現する活動も、各授業の終末に設定したい。

6 単元の目標と評価規準(※能力に関する記述のみとしている)

〔目 標〕 〇 短い会話文や英文から必要な情報を読み取る。
 →「CAN-DOリスト」の形での学習到達目標との関連 読むこと①

〔評価規準〕 〇 短い会話文や英文から必要な情報を読み取ることができる。

※「CAN-DOリスト」の形での学習到達目標【第1学年終了時】

外国語表現の能力		外国語理解の能力	
話すこと	書くこと	聞くこと	読むこと
やりとり ① 日常的话题について、相手に質問したり、相手からの質問に答えたりすることができる。 <u>話</u> <u>やりとりイ</u> ② 自己紹介や関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができる。 <u>話</u> <u>やりとりア</u>	① 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができる。 <u>書</u> <u>ア</u>	① はっきりと話されれば、日常的话题について、必要な情報を聞き取ることができる。 <u>聞</u> <u>ア</u>	① 日常的话题について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができる。 <u>読</u> <u>ア</u>
発表 ③ まとまりのある英文で、自分や身近な人や物を紹介したり、説明したりすることができる。 <u>話</u> <u>発表イ</u>	② まとまりのある英文で、自分や身近な人や物を紹介したり、説明したりする文を書くことができる。 <u>書</u> <u>イ</u>	② はっきり話されれば、日常生活な話題について、話の概要を聞き取ることができる。 <u>聞</u> <u>イ</u>	② 日常的话题について、簡単な語句や文で書かれた文章の概要を捉えることができる。 <u>読</u> <u>イ</u>

7 指導と評価の計画

時	ねらい	評価方法
1	〇 本単元で身に付ける技能や理解する内容を知る。	
2	〇 「英文の内容から必要な情報を読み取る」ことについて理解する。 〇 教科書本文(Part.1)を読み、必要な情報を読み取る。	
3	〇 教科書本文(Part.2)を読み、必要な情報を読み取る。	
4 【本時】	〇 教科書本文(Part.3)を読み、必要な情報を読み取る。	

5	○ 教科書本文(Part.4)を読み、必要な情報を読み取る。	
6	○ 教科書以外の短い英文（ジャマイカ出身のALTが紹介する学校生活）を読み、必要な情報を読み取る練習をする。	
後日	○ 単元テストを実施（教科書以外の英文でreadingテスト）する。	ペーパー テスト

※ 評価については、ここでは指導に生かすための評価（形成的評価）は示しておらず、外国語表現の能力の観点の評定につながる評価（総括的評価）に係るもののみを示している。

8 単元を通しての指導上の工夫点

- 毎時間、生徒に単元目標の確認を行い、意識付けをする。
- 「英文の内容から必要な情報を読み取る」ことを意識したワークシートを、毎時間活用する。
- 音読のための時間を原則毎時間確保するとともに、積極的に取り組めるような工夫を行う。
- 「主体的・対話的で深い学び」につながるように、各授業の終末に、生徒自身の意見を問う発問を提示し、ペアでチャットを行う時間を確保する。

9 本時について

(1) 本時のねらい

- 教科書本文(Part. 3)を読み、必要な情報を読み取る。

(2) 子どもたちの「主体的・対話的で深い学び」につながる5つの視点

(※ 学習指導案9(3)に、番号【①～⑤】で表示)

- ① コミュニケーションの目的・場面・状況の明確化
- ② ペアやグループでの活動の重視
- ③ 英文を読む目的の明確化
- ④ インフォメーション・ギャップ
- ⑤ 豊富なインタラクション

(3) 本時の指導過程と評価

時間	学習活動	指導上の留意事項	評価規準 (評価方法)
10 min	<p>Belt Activity</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ presentation of today's teacher ○ chat (②, ④, ⑤) ○ chants 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒が集中して活動に取り組めるよう、時間を決めてスピーディーに進め、メリハリをつける。 ○ [chat]では、回数を重ねる毎に、少しずつ自信をもって話ができるよう数回の機会を設定する。 	
35 min	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元の目標、本時のねらいの確認 ○ 「必要な情報を読み取る」ことについての確認 (③) <p>Introduction</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ Review (①, ③, ⑤) <p>外国と日本の学校の違いについて、前時までに読み取ったことを基に、教師の英語の発問に答える（やりとりを交える）。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元の目標達成に向けて、書かれていることの全てを読み取ろうとするのではなく、目的に応じて必要な情報を読み取ることを確認し、意識付けを行う。 ○ 「何のために読むのか」という読む目的を明確にすることで、主体的な読みにつなげるようにする。 ○ 日本と外国の文化の違いを確認しながら、次の活動Reading Activityに関連させるように提示することで、生徒がReading Activityにスムーズに入れるようにする。 ○ 外国と日本の学校生活の違いを思い出し、黒板に表にして提示することで、再確認できるようにする。 	

	<p>Reading Activity</p> <p>○ 1st Reading 何もヒントなしで、教科書part3の英文を読み、ワークシートの問いに答える。</p> <p>○ Practice of new words 新出単語や語句を練習する。</p> <p>○ 2nd Reading 新出語句に慣れ親しんだ後に、もう一度英文を読み、再度、ワークシートの問いの答えを考える。</p> <p>○ Reading the text aloud 本文の音読練習を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ スラッシュリーディング ・ バスリーディング ・ サイトトランスレーション ・ 穴あきリーディング ・ パートリーディング </p> <p>○ 3rd Reading 音読後に、CDを聞きながら本文を読み、新たに読み取れたことがあるか、確認する。</p> <p>○ Check the differences between Australian schools and Japanese schools 外国（オーストラリア）と日本の学校生活の違いについて確認する。</p> <p>Activity for Active Learning</p> <p>○ Talking with the partner about the topic 教師が本文の内容に関連するトピックを提示し、そのトピックについてペアで、チャットを行う。 (②, ③, ④, ⑤)</p>	<p>○ 分からない単語があっても辞書を引かず、英文の前後から判断して読み進めることに挑戦することを確認する。</p> <p>○ 様々な音読練習を取り入れることで、本文の理解につなげるとともに、生徒が自信をもって音読できるようにする。また、音読の際に、文字と音をつなげることを意識させる。</p> <p>○ 3rd Readingでは、文字と音をつなげることをねらい、本文を、聞かせながら読ませる。</p> <p>○ 本単元で学習したことを活用して、活発に意見を述べることにつなげられるよう、本文の題材に関わるトピックを設定する。</p>	
5 min	<p>Consolidation</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本時のねらいが達成できたかを確認する。 ・ 次回の授業の予告をする。 		